

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和46年度以前	
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	02 林業
事務事業名		04	造林事業
根拠法令・例規等		緑の募金による森林等の推進に関する法律	
問		担当課(室)	農林水産課
合		職・氏名	管理係長 藤原弘章
先		電話	0869-64-1831
このシート作成に要した時間		1.5 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	森林所有者、森林利用者等
目的(何のために)	森林・地域環境の保全
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	植栽等の緑化事業を行うことにより、森林整備及び緑化の推進を図る。

事業の実績				
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	記念造林保育事業	記念林の保育を行う(吉永)		
	造林事業補助事務	市内緑化要望団体へ緑化樹(サクラ、肥料等)の現物支給を行う		
	募金及び植樹事業	緑化募金の推進を行う		

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		259	214	214	
	必要人員(人件費)	千円	0.01人	93	0.02人	199
	事業費計		352	413	407	
	国県支出金		259			
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他( )				197		
一般財源		93	413	210		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	結果指標量	事業	6	6	5	
	対前年比	%	-	100.0%	83.3%	
	活動コスト	円	352	413		
	単位当たりコスト	円	59	69	0	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
緑化地区数	目標値(A)	6	6	6	6
	実績値(B)	6	6	5	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	83.33%	6
成果指標設定の考え方・式や説明					
緑化地区数/緑化要望地区数					

事務事業の評価			
市との関与の 妥当性の 必要性 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>D</b>	
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>D</b>
	有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> <b>C</b>

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	引き続き、森林組合と協力して事業を推進していく。					

総合評価	
緑化募金については、募金団体が限定的となっているところから、より広範なPRに努め、理解を深めてもらい事業の拡大を図る必要がある。	評価区分 <A-E> <b>C</b>

平成23年度の方針性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	各団体の緑化意識を喚起していく事業としたい。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項  
事業の目的やその数値目標を達成するための下書き

